

ノマド交流会のお手伝いに行ってきました!! Sep.20

9月20日(日) マイスタ加古川さん主催のノマド交流会にお手伝いとして参加してきました。デジタルノマドとはパソコンを使った仕事などでノマド「遊牧民」のように場所に縛られずに仕事をされている方々です。そんな仕事をされている海外の方との交流会を稲美町で行いました。前原ぶどう園さんのぶどう狩りに、稲美中央公園でのBBQに流しそうめん。いきがい創造センターでの少林寺演武の披露や日本文化体験など1日で稲美町のいいところを詰め込んだ交流会となりました。世界の様々な国の方に稲美町のいいところを発信できたらいいですね!



外国料理教室～タイ家庭料理～

稲美町在住のベックさん、エフさんを講師に迎えタイで親しまれている料理(パッタイなど)を作ります。

と き: 1月17日(日)

9時 受付(12時頃まで)

ところ: にじいろふーみんキッチンスタジオ
持ち物: エプロン・スリッパ・三角巾・手拭きタオル・食器用布巾

参加費: 会員500円
非会員1000円

定 員: 10名程度
※定員に達し次第締め切りさせていただきます。



申込先: 稲美町国際交流協会

会 員 募 集

未来の稲美町の国際化に寄与し、国際交流事業への賛同をいただける方を募集しております。みなさまのご支援のもと様々な活動ができております。ご協力よろしくお願い致します。会員の方にはイベントの割引等があります。
※外国人に日本語を教えて下さるボランティアさんも募集しております。

【年会費】・個人	1口	1,000円 (小中高生500円)
・家族	1口	2,000円
・団体、法人	1口	5,000円

【わーるどクイズ④の答え】②カササギは韓国国家徴の鳥。スズメ目、カラス科の鳥で大きさは45センチほどです。東洋ではカササギがカチカチと鳴くと吉兆と言われ縁起の良い鳥とされている。日本では九州佐賀県でカチカラスとも言われ県の鳥に指定されている鳥です。

令和8年度 団体・法人会員 (順不同)

碓永自動車(株)	但陽信用金庫稲美支店
播磨水産 国岡店・百丁場店	兵庫大学 留学・国際交流センター
(株)アシス	古谷産業(株)(Fitt:s)
赤松機器工業(株)	(株)はた石材
植田住地(株)	タイヤの岡田
天満神社	キング醸造(株)
木下製罐(株)	稲美町シニアクラブ連合会
広田鉄工(株)	(株)大善
イナミスポーツ	いなみ柔道クラブ心塾
サンライズ	(株)印南食品
兵庫南農協 天満支店	クラウン商事(株)
三美塗装工業(株)	沼田建具店
上野鋼業(株)	いなみマイマイ工房
イドネパルダイニング・ヴィレッジ	ワタキューセイモア(株)
ダディーズベーカリー	稲美苑
(株)稲美乳販	(株)船屋.com
英建設(有)	前原ぶどう園
木村建設工業(株)	榎本建築設計事務所
藤永不動産(有)	NOBBY FARM 丸尾農場

編集後記

留学生、ホストファミリーの皆さんの感想文はいかがでしたか? 今年も素晴らしい出会いがありました。暑さ厳しい中ではありましたが、それぞれの家庭で楽しくて、それでいて有意義な時間を過ごされたことが伝わってきます。また、稲美町に帰ってきてくれたら嬉しいですね。ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げますと共に、今後の協会の活動にも多数ご参加お待ちしております。

国際交流通信

わーるど

年2回
6月・11月
発行

第68号

2026. 11. 1

ふれあい交流「いなみ野の里」2026

8月8日(土)より4泊5日の日程で、大阪大学の留学生がホームステイしました。今年は7カ国9名が参加しました。どんな思い出を作ることができたのでしょうか。



アキ
(インド)



リン
(ベトナム)



ノア
(タイ)



ソンジュン
(韓国)



リエン
(カンボジア)



チェズ
(インド)



パンミー
(タイ)



ヨシュア
(ドイツ)



ダニドゥ
(スリランカ)

1日目 8月8日 歓迎会

8月8日(土) 稲美町役場コミセンホールにて歓迎会を行いました。稲美野万葉太鼓会の皆さんによる力強い演奏が鳴り響く中、留学生が入場。ホストファミリーの皆さんと対面しました。はじめは緊張していましたが、留学生の流暢な日本語にびっくり。すぐに打ち解けて会話が弾んでいました。

稲美北中学校の皆さんからは稲美町のおすすめスポットを紹介するパンフレットもいただきました。これから5日間の稲美町での生活にお役立ていただければ嬉しいです!



よろしくお願いします

楽しい時間を
過ごしましょう

わーるどクイズ④: 韓国で幸運を運んでくれる鳥として知られている鳥は何?

①ツバメ ②カササギ ③ハト

答えは最終ページ下にあります。

2日目 8月9日 キッズカレッジ交流&茶道体験

「はじめまして。」協会主催のキッズカレッジ2026の受講生（小学5・6年生）10名が3回目の講座として留学生と交流に参加しました。自筆名刺を交換、ペアを作ってインタビュー大会をしました。キッズは留学生の国のあいさつや食べ物、留学生はキッズの学校給食や行事などを聞いて発表会。また水辺の里の皆さんによるピカチュウバッグの折り紙やゲーム、流しそうめん、スイカ割りなど盛りだくさんの企画でキッズと留学生の楽しい交流ができました。



午後からは東播磨高校茶道部、ESS部、探究国際班の皆さんと茶道を楽しみました。留学生のみなさんは掛軸やお点前の説明に熱心に耳を傾けて作法を学んだり、お茶を点てたりしました。後半は3つのグループに分かれてのグループトークで大いに盛り上がっていました。



外国語系の大学を志望している自分にとって、みんなが励ましてくれたおかげで、受験勉強がんばろうという気持ちが一層高まりました。
(ESS部3年・男子学生)



今回の交流を通して茶道は日本の伝統文化を伝えるだけでなく、国や言葉の違いを越えて人と人を繋ぐことができるものだと感じました。また留学生の方に茶道の魅力を知ってもらい、少しでも好きになってもらえたら嬉しいなと思っています。

(茶道部3年・女子学生)

3日目 8月10日 ふれあい交流会

10日夕方より、ホストさん、一般参加者さんを交えてふれあい交流会を行いました。留学生の出身国の紹介してもらったり、考えて来てくれた母国クイズをテーブル対抗で楽しんだり、食事も交えてでしたので、あっという間の交流会となりました。



5日目 8月12日 お別れ会

12日はもうお別れ会の日です。留学生のみなさんは稲美町で過ごした5日間の感想をみんなの前で発表してもらいます。日本語を勉強して間もないであろう皆さんですが、難しい日本語を交えて一生懸命お話ししてくれる様子、いつも嬉しく聞かせてもらいます。稲美町は皆さんがまた遊びに来てくれるのといつでもお待ちしておりますよ！！



～受入れ留学生とのその後～ (2024年受け入れ森玉ファミリー)

「ただいま！」「おかえり、また身長伸びた?！」
—昨年ホストをしたアルサくんが帰ってきました。

阪大生の時は休みになると稲美町に遊びに来て、弘前大学に進学後はビデオ電話で近況報告を、セルビアに帰省する際には大阪空港から出発するからと我が家に寄ってくれました。今回は沖縄旅行の前に3泊の予定で滞在、相変わらず流ちょうな日本語での会話や理系男子らしい料理の解説に大盛り上がるの4日間でした。沖縄にいったらソーキそばがおすすめと幾度となく話したのですが、那覇到着早々のメールには山羊料理の写メが届き、何事も探究心の旺盛なアルサくんらしいねと主人と笑いました。はてさてどんな沖縄旅行の報告が来るか今から楽しみにしています。



～ホストファミリーと留学生の5日間の交流より～

高田ファミリー

チェズくんの『知りたい!』がいっぱいの5日間

おしゃべり大好き、何にでも興味もつチェズくんが我が家に来てくれました。家の周りを散策し、広がる田園風景に感動したり、ご近所の方と会話を楽しんだりしました。また、稲美町をもっと知りたいという希望に応え、加古神社や加古大池へ案内しました。義父からは稲美町の歴史について詳しく話を聞き、町をより身近に感じてもらえました。

彼の日本の志望大学が夫と夫の弟の母校で、志望学部も似ていたため、大学生活や勉強について実体験を交えて話すことができ、非常に盛り上がりました。とんかつしか知らなかった彼に、簡単な家庭料理や残り物のリメイク、便利な合わせ調味料などを教え、これからの一人暮らしに役立つ知識を伝えられました。勉強だけでなく、健康で充実した生活を送ってほしいと思っています。

義母は「夢は叶う」という切り絵のプレゼントをしました。この言葉の通り、進学目標に向かって頑張ってほしいです。試験が終わったらまた遊びに来るそうなので、楽しみに待っています。



チェズ(インド)

たくさんの出会いと思い出

今回のホームステイではたくさんの人と交流し日本の文化や生活を学びました。学生の皆さんと流しそうめんをしたり、茶道をしたいりして、とても楽しかったです。ホストファミリーとは一緒に料理をしたり、日本の教育について話したりしました。また稲美町の文化や歴史について教えてもらったりしました。たくさんの思い出ができました。本当にありがとうございました。

福田ファミリー

今回初めてホストファミリーをさせていただきました。10年以上前に一度他都市で経験していたとはいえ、我が家でどう過ごしてもらうのがよいか少し不安ではありましたが、対象が阪大の留学生である程度日本語が話せ、日本文化にも興味のある人であることから受け入れを決断しました。

このホームステイの目的が「家族の一員として生活し…」とありましたので、我が家ではそれを素直に受け取り、特別観光に連れて行ったりせず、うちが普段食べているものを一緒に食べたり、犬の散歩や農作業に参加してもらったり、友人や親族を招き一緒に歓談したりして過ごしてもらいました。

何事にも興味津々、些細なことにも感激してくれ、「こちらこそ来てくれて貴重な経験をさせてくれありがとう」という気持ちです。

手巻き寿司の生魚、ワサビ、カラシ、たこ焼き、お好み焼き、小腹がすいた時のチキンラーメンを半分こ、犬の抱っこ……初めての体験のオンパレード。

お互いに、伝える言葉探しで、確かに脳は疲れますが、それ以上に楽しい経験をいっぱいさせていただきました。ありがとうございました。



赤松ファミリー

ようこそわが家へ

今回はドイツから来たヨシュアさんを迎えました。彼は小さい頃から柔道を習っていて、日本に来るのが夢だったそうです。ドイツの大学で日本文学を学んでいて、更級日記、蜻蛉日記、百人一首を分析しているということには驚かされました。

どんな日本食も食べられるとのこと、1日目の夕食には初めての手巻き寿司をしました。[美味しい]と言いながらお腹いっぱいになるまで食べてくれました。趣味の一つに御朱印集めがあったので、3日目に法華山一乗寺、4日目は淡路島の伊弉諾神宮を訪れました。日本語が上手なので、親戚とのバーベキューの時も、お互いの国の家族のことや言葉、文化、風習、歴史などの話に花がさきました。

九月には帰国し、将来言語学者を目指して大学で研究をするそうです。礼儀正しく日本の文化を大切にしているヨシュアに刺激を受けた5日間でした。いつか世界情勢が落ち着いて再会できる日を楽しみにしています。素敵な出会いをありがとうございました。



ヨシュア(ドイツ)

赤松ファミリーとの出会い

赤松家でのホームステイでは、数えきれないほど素晴らしい経験をしました。ジェラートや手巻き寿司、神戸牛のバーベキュー、鰻、お好み焼き、かき氷など、初めて食べるものをたくさんありました。ボウリングや一乗寺、淡路島への旅行も忘れられません。国際交流協会の茶道や高校生や小学生との交流も楽しかったです。何より嬉しかったのは、赤松家の一員のように温かく迎えていただいたことです。本当に感謝しています。

宮之脇ファミリー

リンちゃんとの思い出

リンちゃんは、日本のアニメや歌などに興味を持って日本語を勉強して留学にきたそうです。

とても日本語が上手で子供たちとも沢山遊んでくれる優しい子でした。初めは、人見知りな姿もありましたが、慣れてくると家族の話やベトナムの話を教えてくれました。

六甲山牧場に行ったり、庭でBBQをしました。リンちゃんにとっては、手持ち花火は初めての経験だったようです。

最後の夜にはベトナムの揚げ春巻きをこどもたちと一緒に作ってくれました。

子供たちにとって心に残る貴重な体験になりました。

これから、ベトナムに帰って大学で勉強を続け、日本に帰ってくることも考えているようでした。リンちゃんの夢が叶うことを願っています。



リン(ベトナム)

大切な思い出になりました

今回のホームステイを通して、たくさんの貴重な経験することができました。稲美町へ出発する当日の朝はホームステイのホストファミリーと仲良くできるかどうか、不安でいっぱいでした。しかし、お父さん、お母さん、弟くん、妹ちゃんは皆さんたくさん話しかけてくださり、温かく受け入れてくださいました。色んな大切な思い出を作りました。BBQ、花火、お出かけ、一緒にテレビを見たりして。全部をこれからも大事にしていきたいと思っています。

井上ファミリー

ノアくんと過ごした5日間

ノアくんと五日間で、いっぱいおしゃべりしました。その中でも、印象に残っているのはタイ語の難しさです。タイ語クイズをしたけど、正直、意味がさっぱりわかりませんでした。それほどタイ語は難しいんだと感じました。僕は、旅行が大好きです。ノアくんに、タイのおすすめのグルメを教えてくださいました。見せてもらった写真の中でも、特に、美味しそうだったのは、パッタイです。いつか、食べてみたいと思いました。タイのお祭りについても教えてくださいました。とても賑やかそうで、いつか自分もタイに行って、そのお祭りに参加してみたいと思いました。5日間、ノアくんと一緒に話したり、遊んだりできて、本当に楽しかったです! またタイで会おうね!



ノア(タイ)

稲美町で感じた日本の暮し

私はタイのノアです。私にとって稲美町は自然が豊かで、田んぼが広がる美しい町です。最初はすごく「田舎だな」と感じましたが、都会ではなかなか見ることのできない美しい景色や、ゆっくり流れる時間がとても魅力的だと思いました。短い時間でしたが、ホストファミリーのみなさんと一緒にご飯を食べたり、旅行に連れて行っていただいたり、たくさんの楽しい時間を過ごすことが出来ました。日本の美味しい食事を一緒に楽しみながら日本の文化や家族の温かさを身近に感じる事ができました。今回のホームステイを通して、学校では学べることのできない日本の生活や文化を実際に体験することができ、とても貴重な経験になりました。稲美町に来ることが出来て本当に良かったです。みなさんと過ごした時間は私にとって忘れられない大切な思い出になりました。

四方ファミリー

タイのパンミーさんと過ごした5日間

彼女はマナーがとても良く礼儀正しく積極的に料理も片付けも手伝ってくれて、とても可愛い女の子でした。

フリーデーは神社に興味があると言う事で、鹿島神社、赤穂の大石神社等々神社巡りをして、みなさんでおみくじを引いたりお守りを買ったり、私達も新しい体験をしてとても楽しく過ごせました。

普段、大阪大学の留学生と会うチャンスはありませんが、稲美町国際交流協会を通じて知り合える事は幸運です。

残念な事に、彼女が言うには、大阪大学の留学生はこんな素晴らしい稲美町のプログラムを知っている学生は少ないとか...

と言うのは、大学側からお知らせはあるけれど沢山あるメールのひとつでなかなか目に止まらないようです。今回来られた9名の留学生は稲美町を知ってもらえてホストファミリーと過ごせ皆さんとてもラッキーだったと思います。

パンミーはもっと日本に居たいようですが、一年間の留学コースで今月で帰ってしまいます。または是非日本に来るからと言ってきて、いつでも帰って来てと別れを惜しみました。

稲美町国際交流協会のスタッフの皆様ありがとうございました。



パンミー(タイ)

笑顔の町

いなみ町の皆さんは本当にやさしくて、温かく迎えてくださいました。興味があったもの経験することができ、とても楽しかったです。子どもたちもみんなかわいくて、一緒にゲームをしたり、先生や子どもたちに折り紙を教えてくださいました。日本について学ぶだけでなく、ほかの国の文化についても知ることができました。みなさんとお話しし、お互いの経験について話したり、交流したりすることができて、とてもうれしかったです。みなさん本当にやさしくて、面白くて、ノリもよく、楽しい時間を過ごすことができました。この町には野菜やお米など、たくさんのすばらしいものがあることも知りました。でも、私が思うこの町の一番すてきなところは笑顔がいっぱいで、やさしくて温かい人だと思っています。

～ホストファミリーと留学生の5日間の交流より～

藤田ファミリー

今回で通算5回目の留学生の受け入れとなります。今回はインドのアキさん、受け入れの日に琴池地区の夏祭りがあり、初めての浴衣を着て行きました。アキさんは日本語と日本の文化を学びたいという希望があり、とりあえず国安天満神社を案内しましたが、菅原道真が天満天神になった経緯などは既に知っている事には驚かされました。民族学者の柳田國男も知っていて、福崎町で生家を見学後、妖怪の町を堪能してきました。姫路では和菓子作りを体験、また私を含め、息子、孫の5人が空手をやっていて大人の稽古時間に合わせて稲美松濤館の稽古を見学に行きました。言葉では説明出来ないピリッとした武道の空気感を体験してもらいたかったからです。アキさんは日本人より日本の事をよく知っている事もあり、そんな事まで知っているの!とびっくりする事もありました。将来は通訳になりたいらしく、これをきっかけに交流が続く事を希望します。



アキ (インド)

いなみ野の里の感想文

まずはこのような大事な機会を私たち留学生にあげてくれて、ふれあい交流のみんなに感謝の気持ちを伝えたいです。いろいろなゲームをやったり、流しそうめんやすいか割をやったり、そして茶道の経験ももらいました。ホームステイのみんなもこの5日間やさしく話したり、おいしい料理を作ってあげたり、いい時間をすごしました。また自分の国のことも、発表やクイズでみんなにすこしでも聞かせたかったのうれしいです。この5日間みんなありがとう。

坂口ファミリー

ソンジュンと過ごしたかけがえのない5日間

昨年に続き、今回で2回目のホストファミリーを務めさせていただきました。今年は韓国のソンジュン君。

ソンジュンはバスケットとJ-POPと動物が好きな男の子で、すぐに我が家の子供たちとも仲良くなりました。

ソンジュンの好きなカレーライスや唐揚げ、手巻き寿司などを作り、みんなで食卓を囲んで韓国の話など色々な話を聞くことができました。

フリーデーには姫路セントラルパークに行って楽しみましたが、スーパーでの何気ない買い物や、子どもたちとのバスケットボール、テレビゲームなど、特別なことだけではなく「家族の日常」をたくさん共にしました。

家族との日常の中で、趣味や好きなものを分かち合えば、国籍を超えて心が通い合い仲良くなれることを実感しました。

わずか5日間という短い期間でしたが、まるで本当の家族の一員のような絆が生まれたように感じます。

お別れの日、ソンジュンが身につけていたラバーバンドを息子にプレゼントしてくれました。息子の宝物です。

別れは名残惜しかったものの、秋には再会できる予定です。これからも連絡を取り合いながら、温かい交流を末永く続けていきたいと思います。



ソンジュン (韓国)

稲美町でのホームステイ

8月8日から12日まで、稲美町で坂口さんファミリーと一緒にホームステイをしました。自由時間には、サファリパークや遊園地に連れて行っていただき、楽しい思い出を沢山作ることができました。特に息子さんの充くんと一緒にバスケットボールをしたり、毎日美味しいご飯を食べたりすることができて嬉しかったです。今回のホームステイを通して日本の家庭での生活や文化に直接触れることができ、とても貴重な経験になりました。

松村ファミリー

スリランカ出身の留学生 ダニドゥ君を受け入れました。

スリランカのことは、あの非常に長い首都の地名とセイロンティーしか知りませんでしたが、あえて予習せず迎え入れることにしました。

出会った日は、妻の友人の集まっている日と重なって、いきなり大勢の知らない大人や子供達に揉まれて、スイカ割りをする事になりましたが、すぐに順応してくれて、スイカも見事に割ってくれました。

その後、スリランカのことや、趣味について教えてもらいました。

スリランカには高い山があり、像やヒョウ、蛍光色の蛇がいることを、ご自身が撮った写真を交えて教えてもらいました。

海有り、山有り、とても自然豊かな国のようで、旅行に行きたくなりました。

1回目の自由な日は、明石海峡大橋に登って、次の日は、姫路城、好古園、書写山を巡りました。その中でも、好古園がお気に入りだったようです。

家に帰ってからは息子のリクエストで、抹茶を立てて和菓子を頂きました。

ご両親ともビデオ通話する機会があり、国が違えど、親というのは似たようなものだなと思いました。短い間でしたが、新鮮な日々を過ごすことができました。

今後もダニドゥ君を応援したいと思います。



ダニドゥ (スリランカ)

たのしいホームステイ

私はこのホームステイがとてまたのしかったです。ホストファミリーはとてもやさしかったです。姫路城と舞子おおはしなどいろいろな所へホストファミリーと一緒にに行きました。たくさんの方のようじのなかで茶道が一番たのしかったです。稲美町のスタッフのみなさんありがとうございました。このけいけんをわすれません。

2026国際理解キッズカレッジが開講しました!!

キッズカレッジ生10と兵庫大学留学生との交流を行ない、一緒に多文化理解に向けて交流を深めます。

第1回 外国のことを知ろう 6/28 SUN

1回目は兵庫大学にて自己紹介&ボードゲームで楽しみました。はじめましてのメンバーに、色々な国からきた留学生のお兄さんお姉さんに、最初は緊張もあった子供たちもゲームを交えた質問タイムで沢山の質問をしていっぱい話をしていました!



第2回 JICA訪問 7/24 FRI

1回目の活動は夏休みの平日を利用してJICAに社会見学に行きました。JICAの役割を教えてもらったり、JICA協力隊として世界の国で活動した方のお話を聞かせてもらいました。誰でも世界の困っている人たちのために出来ることはあると分かりましたね。お話の後はJICA食堂で世界のランチメニューをいただきます。バスの中ではわーどクイズをしたり、スタッフの海外での活動のお話を聞いたり、充実した1日になりました。



第3回 大阪大学留学生交流 8/9 SUN ... ホームステイ記事で掲載(P2を見てね!)

わくわくNight Fesに出店しました!! Aug.22

8月22日(土)水辺の里公園さん主催の「わくわくNightFes」に参加させていただきました。協会からはキッズカレッジでも好評だった5色玉入れゲームを出店し、入った球の数に応じて世界各国のお菓子をプレゼントしました。子供たちがたくさん来てくれるお祭りだったので、協会活動のPRにもなりました。世界の色々な国に興味を持ってくれる子どもたちが今後協会活動にも参加してもらえたら嬉しいです。ご来場くださいましたみなさん、ありがとうございました。

